



fu fu fu 幸せを感じたとき...

信楽通信 第243号 2023. 10. 16 発行

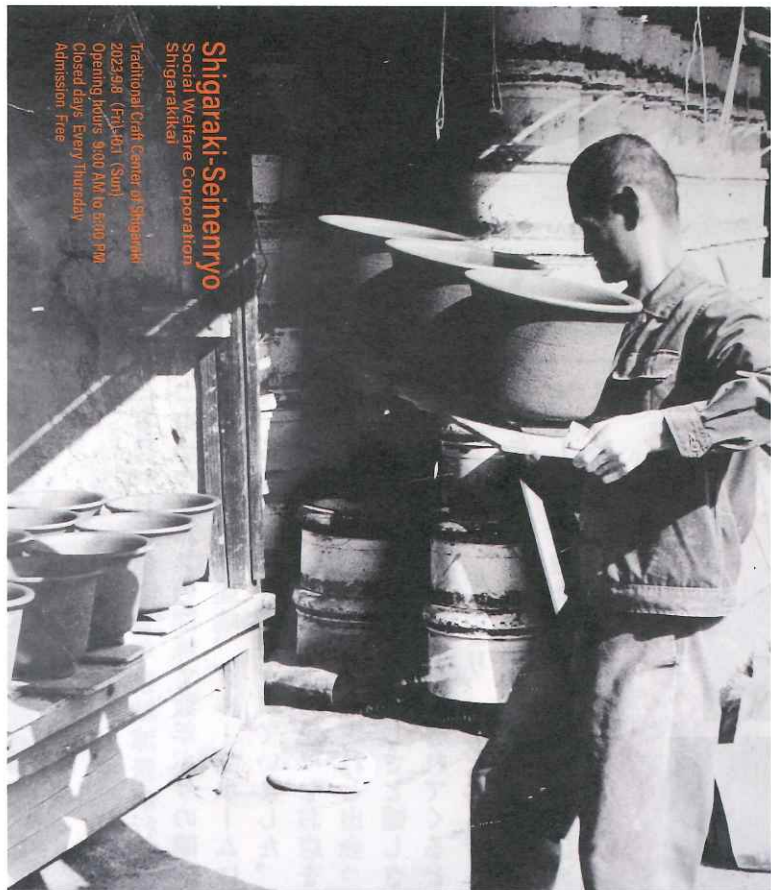
社会福祉法人しがらき会

信楽青年寮
ワークセンター紫香楽
しがらき地域生活支援センター
甲賀地域働き・暮らし応援センター

《法人事務局》信楽青年寮内

TEL 0748-82-0588 FAX 0748-82-0961

URL <https://www.shigarakikai.or.jp> E-Mail shigaraki@miracle.ocn.ne.jp



甲賀市信楽伝統産業会館 滋賀県甲賀市信楽町長野 1203
TEL 0748-82-2345 FAX 0748-82-2551
開館時間午前9時から午後5時(木曜日休館)

出展 社会福祉法人しがらき会 信楽青年寮
滋賀県甲賀市信楽町神山 534-8
TEL 0748-82-0588

甲賀市信楽伝統産業会館



信楽青年寮は、今年で創立68年目を迎えます。地域の皆様のご理解とお力添えがあってこそ、現在に至っております。この場をお借りして、感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

創設者である故 池田太郎氏は、

「この人たち（障がいのある人たち、信楽青年寮のご利用者）の幸せは、この人たちが社会に溶け込んでいく姿にある」と説いています。

私たちは、この思想をもとに、地域とのつながりを非常に大切に思い、取り組んでまいりました。お弁当箱を片手に持ち、地域の窯元さん、家内工場などへ仕事に行かれる姿も、記憶にあるのではないのでしょうか。

しかしながら、現在はご利用者の平均年齢が65歳を超え、医療的な支援を必要とする方も増えて、以前の様にまちなかを歩かれる姿も少なくなりました。また、コロナ禍になってからは、外出の機会や、イベントの参加も減り、地域の方々との関わりも減りつつあります。

また、今回の展覧会は、利用者の方々が今まで地域で働き、信楽の陶器産業に寄与されてきた実績や、地域（施設）での生活や活動などを幅広く紹介させていただきました。

そして、地域との関わり「ふれあい」や「つながり」を、今までのように持っていたきたいという思いで、この信楽の中心地である、信楽伝統産業会館をお借りして、展覧会を開催させていただきました。

会場にお越し頂いた皆様方、当展覧会にご来場いただき、本当にありがとうございました。これからも、地域の信楽青年寮として、皆様方のご理解を頂戴したいと思っております。

信楽青年寮
施設長 岩永 信也

《2023年9月8日 オープニング式典》



おりじなるTシャツ《白・黒》



スタッフ募集 (正規・パート)

しがらき会では職員を募集しています。

障がいのある人を支える仕事に興味がある方は、下記までご連絡をお願いします。

お待ちしております。

詳しくはQRコードを読み取って下さい!!

募集職種：支援員・ヘルパー・看護師
世話人・送迎運転手(通院補助)
洗濯業務

連絡先：しがらき会法人事務局
☎：0748-82-0588
担当：中井・岩永

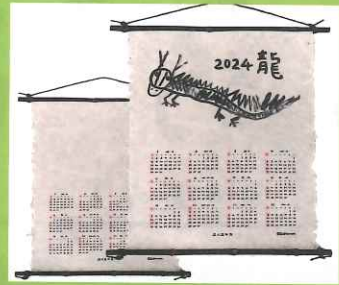


《会場の展示風景》



今回は、ワークセンターで作成・販売をしているカレンダーの紹介をしたいと思います。

『和ごよみ 無地』『和ごよみ 干支』



共にA2サイズの大きなカレンダーとなっています。『和ごよみ 無地』は、写真を貼ったり、自分で書きたい字を自由に書いたり、お好きなようにアレンジして楽しむことができます。『和ごよみ 干支』は、利用者さんが描いた干支の絵が描かれています。

値段：1,320円(税込)

『草木カレンダー』



毎年たくさんの注文をいただいている、『草木カレンダー』です。A3サイズのカレンダーで、壁などに掛けてご利用いただけます。

値段：2,200円(税込)

『ポストカレ』



ワークセンターの利用者さんが描かれた絵を使用したカレンダーです。使用後はキトリ線に沿って切っていただくと、ポストカードとしてご利用いただけます。

値段：1,650円(税込)

ワークセンター紫香楽では、手漉きにこだわって和紙を作成しています。手漉き和紙ならではの『温かみ』や『紙の個性』を感じてもらえたら幸いです。ぜひこの機会にお手に取ってみてください。

(田ヶ原)

《お問い合わせ先》

ワークセンター紫香楽

TEL: 0748-82-2198

FAX: 0748-82-2199

Mail: kamikoubou

@ex.biwa.ne.jp

担当: 田ヶ原

しがらき地域生活支援センター

だより

8月25日に信楽青年寮納涼祭が行われました。コロナウイルスの関係で数年ぶりの開催というところで案内が来た途端、グループホームに入居されている皆さんは大喜びされていました。期待に胸を膨らませていざ当日。色々なお店をそれぞれ好きに巡って、懐かしい顔ぶれと出会っては昔話に花を咲かせ、ますます楽しさと嬉しさが込み上げてくる様子でした。日が暮れてくるといよいよ「やっちくれ」が始まり、みんなで踊りました。今年も信楽青年寮の方とグループホームの方限定でしたが、また地域の方々と交流の機会となることを祈っています。

(黄瀬)



甲賀地域働き・暮らし応援センター

だより

長く続いた新型コロナウイルス感染症の影響も本年5月に2類感染症から5類感染症に引き下げられ、様々な社会の動きも活発になってきました。就業支援の現場に於いても2024年4月には、民間企業の障害者法定雇用率が現行の2.3%から2.5%に引き上げられることもあり、当センターにも障がい者雇用を検討されている企業様から多くの相談が寄せられております。障がい者専用の求人数も徐々に回復しており、10月19日にはハローワーク主催の障害者就職面接会がクサツエストピアホテルで開催され、昨年度を大幅に上回る32社の企業様に参加される予定となっております。障がいのある方の就業就労の機会を時代と共に確実に広げていきます。

私共、働き・暮らし応援センターは障がい者雇用の促進のみでなく、雇用継続のための定着支援に重点を置き、雇用後も障がいのある方と企業様双方と対話を重ねながら、作業や環境の調整を行ったり、体調管理やメンタルフォローのお手伝いをさせて頂いております。そして、障がいのある方がスムーズに職場に適応し、長くその職場で就労を継続して頂くことを目標に、日々、支援をさせて頂いております。その支援のひとつに『ジョブコーチ支援』があります。ジョブコーチ支援とは、障がいのある方が働いておられる職場に直接ジョブコーチが出勤し、その方の特性に合った効率的でミスのない作業の方法や、職場での良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション手段等を検討し、障がいのある方に対し直接的に現場で助言や指導をさせて頂く支援方法です。同時に、ジョブコーチは企業様に対しても障がい者を正しく理解して頂き、有効な指導方法や必要な配慮等について助言や提案を行います。コロナ禍で多くの企業様が職場訪問を規制されていますが、それも徐々に緩和され、今年度はジョブコーチ支援の依頼も多く頂いております。当センターには現在3名の登録ジョブコーチが在籍している他、センター職員は全員ジョブコーチ資格を有しておりますので、ジョブコーチ支援を活用したい方や企業様がいらっしゃいましたら、当センターまでお気軽にお問合せ下さい。

(満田)

甲賀地域働き・暮らし応援センター

住所: 甲賀市水口町暁3-4-4

TEL: 0748(63)5830

職員F・Y

入職して一年が経ちましたが、まだまだ分からない事も沢山あり、生活支援の仕事の難しさを痛感する毎日です。コミュニケーションの難しさ、利用者さんの体調変化や対人関係等、日々変わる状況の把握に四苦八苦しています。入職当初に支援員の役割とは本人さんが出来る事は自分でして頂き、過度な支援により、その方の能力を落とさない事が重要であると教えて頂きました。少しずつですが利用者さんと向き合い、この方にはどこまでの支援が必要なのか、そんな事を日々模索しながら過ごす事を最近少し楽しく思えるようになってきました。

青年寮 K・Y

私(私)の視点

私が利用者さんの支援をする中で特に意識していることは、「見る」ではなく、「観る」という事です。「見る」対象物を自分の視野に入れる事、「観る」視覚にて得た情報を考察する事であると考えております。利用者さんの表情や行動、居室で過ごされている様子、歩行の様子などをよく観察して、日々変化する一人一人の健康状態や、情緒面の様子をキャッチすることが良い支援をするための第一歩であると思います。また利用者さんとのコミュニケーションも非常に大切な事ではあります。ここから観える情報は非常に多く、視覚ではわからない内面の部分を読み取ることが出来ます。ただ見る、ただコミュニケーションを取るのではなく、安心して楽しく生活を送っていただくための手掛かりを探るべく今後も「観る」ことを続け、質の高い支援、利用者さんが笑顔になれる支援に繋がりたいと思っております。

青年寮 F・Y